

日本福音主義神学会西部部会
2016年度秋期研究会議

「聖書のテキストとどう向き合うか
—神のことば・教会の正典としての聖書解釈」

2016年11月21日(月)

基調講演：水垣渉氏（京都大学名誉教授、日本キリスト改革派滋賀摂理教会会員）

会場：日本イエス・キリスト教団千里聖三一教会

565-0824 大阪府吹田市山田西3丁目55-7

TEL&FAX 06-6875-0031 <http://senriseisanitsu.info/>

ご案内

福音主義神学会は、「聖書の十全靈感を信じる福音主義キリスト教の立場に」「立って、神学的研究を行い、相互の交流をはかり、教会の健全な成長と発展に奉仕することを目的と」しています（規約第3、4条）。神のことばとして聖書を読むことは本会の生命線であり、それゆえに聖書論がしばしば研究会議の主題として取り上げられてきました。最近では2014年の全国研究会議で、現代の様々な神学的潮流を踏まえた上で「誤りなき神のことば」として聖書を受け取る意義について充実した議論が行われました。

これらの積み重ねの上に立って、今回の研究会議では聖書「論」ではなく「テキストそのもの」に焦点を当てていきたいと願っています。聖書が「神のことば」であるとの認識は机上の議論によってではなく、聖書の神のことばそのものがキリスト者とその共同体に「語りかける」原体験によって確認されるべきものだと考えるからです。一方で、その原体験が神学という「学」に結びつくためには、神のことばの語りかけが理性による検証を要求し、かつその検証に耐えるものである、との確信が必要です。そこには聖書を神のことばとして読んできた人々の歴史、教会の正典として読み継いできた共同体の歴史が前提されています。今あらためて、キリスト者が「神のことば、教会の正典として」聖書を読むことの意味について問いなおすことは、福音主義神学が「教会の健全な成長と発展に奉仕」するための土台として必要なことだと私たちは確信しています。

今回の研究会議では、水垣渉氏に「教父における聖書解釈」について基調講演をしていただき、それに対して部会理事の鎌野直人氏に聖書学の立場からの応答をしていただきます。午後には同一の聖書テキストについて教理的・聖書主義的・実践的という三方向からの釈義を各一人の担当者から発表していただき、会場からの質疑も受けて考察を深めていきたいと願っています。また昼食時のオプションとして神学生集会を開き、三名の神学生に聖書釈義についての発表をしていただきたいと思います。

主講師の水垣渉氏は京都大学キリスト教学教室の教授として長年古代教父を中心に研究を重ねてこられた、我が国を代表する学究の第一人です。また日本キリスト改革派滋賀摂理教会の会員として、忠実に主と教会に仕えておられる敬虔なキリスト者でもあられます。実りある研鑽と交わりの時となることを願っております。ぜひご参加ください。

2016年秋期研究会議コーディネーター 金井由嗣、岸本大樹、瀧浦滋

＜プログラム＞

10:00 受付開始
日本福音主義神学会西部部会理事会

10:30～11:00 開会礼拝 司会・奨励 岸本大樹（コーディネーター）

＜午前＞ 司会 金井由嗣（コーディネーター）

11:00～12:00 基調講演 「教父における聖書解釈」
水垣 渉氏（京都大学名誉教授）

12:00～12:20 応答 鎌野直人氏（関西聖書神学校学監）

12:20～12:30 質疑応答

12:30～14:00 昼食（事前申し込みが必要、500円）

（13:15～13:55 神学生集会、聖書釈義についての発表3名、各10分）

＜午後＞ 司会 岸本大樹（コーディネーター）

14:00～15:30 釈義研究
教理的見地から・・・瀧浦 滋（コーディネーター）
聖書主義的見地から・・・池田基宣氏（恵みキリストの教会牧師、大阪聖書学院教師）
実践的見地から・・・石崎伸二氏（高丘福音ルーテル教会牧師、神戸ルーテル神学校教務）

15:45～16:30 質疑応答

16:15～16:30 総括・閉会の祈り 進行 金井由嗣（コーディネーター）

16:30 散会

会 場 日本イエス・キリスト教団千里聖三一教会 <http://senriseisanitsu.info/>
（阪急千里線・大阪モノレール「山田」下車、東南へ徒歩約10分。HPの地図をご覧ください）

＜昼食＞

11/7（月）までに千里聖三一教会（senri31@iris.eonet.ne.jp）宛に「福音主義神学会弁当申し込み」と明記の上、昼食を申し込む人の名前をお送りください。代金500円は、当日受付でお支払いください。当日の昼食受け付けはありません。会場周辺にコンビニやカフェはありますが、飲食店はありません（山田駅周辺にはあります）。

＜コーディネーター＞

（長）金井由嗣（日本イエス・キリスト教団千里聖三一教会牧師、関西聖書神学校講師）
岸本大樹（旭基督教会牧師、大阪聖書学院長）
瀧浦 滋（日本キリスト改革長老・岡本契約教会牧師、神戸神学館代表）

2016年秋の研究会議・準備会（神戸神学館特別講義）

「教父の聖書解釈：オリゲネスの貢献」 水垣 渉氏

9月8・9日（木・金）午後7:00—8:30 神戸神学館2Fチャペル

©日本福音主義神学会と神戸神学館の関係者は無料です。